



1 評価概要

令和4年度の達成度調査結果を踏まえた、東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」（以下、「推進計画」という。）の各指標の達成状況は、別紙「東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」指標 達成度状況一覧」のとおり

○推進計画の全指標41項目のうち、**重複項目を除いた32項目の目標値の達成状況**は、次のとおり

- ・ **達成** 16項目
- ・ **未達成** 16項目

○未達成項目に関する状況の内訳は、次のとおり

- ・ **改善傾向**（対基準値増減 **105%以上**） 12項目
- ・ **現状維持**（対基準値増減 **95~105%未満**） 1項目
- ・ **悪化傾向**（対基準値増減 **95%未満**） 3項目

達成度評価	件数	評価内訳	対基準値(増減比)	件数	増減率	(うち改善以上)
達成	16	達成	—	16	50.0%	87.5%
未達成	16	改善	105%以上	12	37.5%	
		現状維持	95~105%未満	1	3.1%	
		悪化	95%未満	3	9.4%	
計	32	計		32	100%	

**目標値達成項目と未達成項目のうち改善傾向にある項目は、
全指標32項目のうち、28項目・全体の約87.5%を占める状況**

2 評価及び検証

推進計画の4本の柱に関する各指標の達成度評価と検証については、次ページ以降に掲載



達成度評価① ライフステージに応じた歯と口の健康づくりの推進〔乳幼児期〕



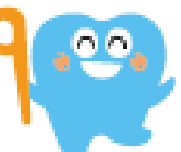
- ・ 現行計画の指標5項目のうち、**目標達成した指標は3項目**
- ・ 目標未達成であった指標2項目のうち、**改善傾向にある指標は2項目**
- ・ 甘味飲料をほぼ毎日飲む者の割合（3歳児）は、目標達成ではあるが減少幅は小さい
- ・ かかりつけ歯科医を持っている者の割合、かかりつけ歯科医で定期健診や予防処置等を受けている者の割合については、それぞれ改善傾向にあるものの、目標達成には至らず



- ✓ むし歯（う蝕）のない者の割合（3歳児）の更なる増加に向けて、引き続き、取組を推進する必要
- ✓ かかりつけ歯科医を持ち、定期健診や予防処置等を受けることの重要性について、引き続き、普及啓発を行っていくことが必要

【主な指標の達成度状況】

〔指標項目〕	〔基準値〕	〔目標値〕	〔現状値〕	〔達成度評価〕
むし歯（う蝕）のない者の割合（3歳児）	88.5%	90.0%	93.9%	達成 (106.1%)
甘味飲料をほぼ毎日飲む者の割合（3歳児）	26.0%	減少	25.0%	達成 (104.0%)
ゆっくりよく噛む習慣づけをしている者の割合（3歳児）	59.4%	増加	61.2%	達成 (103.0%)
かかりつけ歯科医を持っている者の割合（3歳児）	48.5%	65.0%	52.4%	未達成 《改善》
かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合（3歳児）	43.3%	60.0%	50.0%	未達成 《改善》



達成度評価① ライフステージに応じた歯と口の健康づくりの推進〔学齢期〕



- ・ 現行計画の指標 6 項目のうち、**目標達成した指標は 2 項目**
- ・ 目標未達成であった指標 4 項目のうち、**改善傾向が 4 項目**
- ・ う蝕のない者の割合（17歳）、歯肉に炎症所見のある者の割合（17歳）は、目標達成には至らなかったが、改善傾向
- ・ フッ化物配合歯磨剤を使用する者での割合は、市場の流通状況を勘案すると認知度の低さに起因すると考察



- ✓ かかりつけ歯科医を持ち、定期健診や予防処置を受けることの重要性について、引き続き、普及啓発を普及啓発を行っていくことが必要
- ✓ 日常的に意識して、口腔ケアに取り組むことの重要性について、普及啓発をしていくことが必要

【主な指標の達成度状況】

〔指標項目〕	〔基準値〕	〔目標値〕	〔現状値〕	〔達成度評価〕
むし歯（う蝕）のない者の割合（12歳）	64.0%	70.0%	73.4%	達成 (114.6%)
むし歯（う蝕）のない者の割合（17歳）	45.0%	60.0%	55.9%	未達成 《改善》
フッ化物配合歯磨剤を使用する者の割合（12歳）	29.8%	70.0%	37.2%	未達成 《改善》
かかりつけ歯科医を持っている者の割合（12歳）	57.6%	80.0%	63.5%	未達成 《改善》
かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合（12歳）	38.3%	55.0%	58.8%	達成 (153.5%)



達成度評価① ライフステージに応じた歯と口の健康づくりの推進〔成人期〕



- ・ 現行計画の指標 9 項目のうち、**目標達成した指標は 3 項目**
- ・ 目標未達成であった指標 6 項目のうち、**改善傾向が 4 項目、現状維持が 1 項目、悪化傾向が 1 項目**
- ・ 進行した歯周病を有する者の割合（40～49歳）は悪化傾向
- ・ 糖尿病や喫煙が歯周病のリスクであることを知っている者の割合（20歳～64歳）は改善傾向も 5～6 割程度



- ✓ かかりつけ歯科医を持ち、定期健診や予防処置を受けることの重要性について、引き続き、普及啓発を普及啓発を行っていくことが必要
- ✓ 特に、青年期（概ね 18～30 歳）について、40 代以降の歯周疾患等の予防に向け、かかりつけ歯科医を持ち、定期的な歯科受診することの重要性について、更なる普及啓発が必要

【主な指標の達成度状況】

〔指標項目〕	〔基準値〕	〔目標値〕	〔現状値〕	〔達成度評価〕
進行した歯周病を有する者の割合（40歳～49歳）	40.8%	30.0%	43.9%	未達成 《悪化》
糖尿病や喫煙が歯周病のリスクであることを知っている者の割合（20歳～64歳）《糖尿病》	47.2%	60.0%	52.6%	未達成 《改善》
糖尿病や喫煙が歯周病のリスクであることを知っている者の割合（20歳～64歳）《喫煙》	54.3%	75.0%	63.0%	未達成 《改善》
かかりつけ歯科医を持っている者の割合（20歳～64歳）	87.6%	90.0%	88.9%	未達成 《現状維持》
かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合（20歳～64歳）	58.0%	70.0%	82.3%	達成 (141.8%)



達成度評価① ライフステージに応じた歯と口の健康づくりの推進〔高齢期〕



- ・ 現行計画の指標 6 項目のうち、**目標達成した指標は 4 項目**
- ・ 目標未達成であった指標 2 項目のうち、**改善傾向が 2 項目**
- ・ 8020 達成した者の割合（75 歳～84 歳）は、目標達成（6 割強）
- ・ フッ化物配合歯磨剤を使用する者の割合は、市場での流通状況を勘案すると認知度の低さに起因すると考察
- ・ 糖尿病が歯周病のリスクであることを知っている者の割合（65 歳以上）は改善傾向も 6 割弱程度



- ✓ 8020 達成した者の割合の増加に向け、引き続き、取組を推進する必要
- ✓ かかりつけ歯科医を持つ者の割合（65 歳以上）は、高止まりしており、指標の見直しを検討

【主な指標の達成度状況】

〔指標項目〕	〔基準値〕	〔目標値〕	〔現状値〕	〔達成度評価〕
8020 を達成した者の割合（75 歳～84 歳）	55.5%	増加	61.5%	達成 (110.8%)
フッ化物配合歯磨剤を使用する者の割合（65 歳以上）	25.2%	70.0%	38.2%	未達成 《改善》
糖尿病が歯周病のリスクであることを知っている者の割合（65 歳以上）	53.7%	70.0%	57.8%	未達成 《改善》
かかりつけ歯科医を持っている者の割合（65 歳以上）	96.2%	増加	97.6%	達成 (101.4%)
かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合（65 歳以上）	64.6%	70.0%	84.4%	達成 (130.6%)



達成度評価② かかりつけ歯科医での予防管理の定着・医科歯科連携の推進

2

かかりつけ歯科医での
予防管理の定着・
医科歯科連携の推進



- ・ 現行計画の指標 10 項目（再掲を含む）のうち、**目標達成した指標は 5 項目**
- ・ 目標未達成であった指標 5 項目のうち、**改善傾向が 3 項目、現状維持が 1 項目、悪化傾向が 1 項目**
- ・ かかりつけ歯科医を持つ者の割合は、3 歳児・12 歳で改善傾向
- ・ 障害者施設利用者のうち、かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受けている者の割合は、悪化傾向
- ・ 周術期口腔ケアにおける医科歯科連携を行っている歯科診療所の割合は、目標達成（3割強）

- ✓ かかりつけ歯科医を持ち、定期健診や予防処置を受けることの重要性に関する普及啓発について、全世代に対して継続するとともに、特に幼児期・学齢期に対する取組が必要
- ✓ 障害者施設における歯科健診や利用者のかかりつけ歯科医での歯科受診の重要性について、普及啓発が必要

【主な指標の達成度状況】

〔指標項目〕	〔基準値〕	〔目標値〕	〔現状値〕	〔達成度評価〕
かかりつけ歯科医を持っている者の割合（3歳児） 【再掲】	48.5%	65.0%	52.4%	未達成 《改善》
かかりつけ歯科医を持っている者の割合（12歳） 【再掲】	57.6%	80.0%	63.5%	未達成 《改善》
かかりつけ歯科医を持っている者の割合（20歳～64歳） 【再掲】	86.7%	90.0%	88.9%	未達成 《現状維持》
障害者施設利用者のうち、かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受けている者の割合（医療型障害児入所施設を除く）	78.8%	90.0%	55.7%	未達成 《悪化》
周術期口腔ケアにおける医科歯科連携を行っている歯科診療所の割合	21.8%	30.0%	31.4%	達成 (144.0%)



達成度評価③ 地域で支える障害者歯科医療の推進

3

地域で支える
障害者歯科医療
の推進

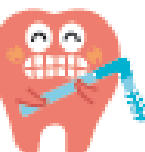


- ・ 現行計画の指標3項目（再掲を含む）のうち、**目標達成した指標は1項目**
- ・ 目標未達成であった指標2項目のうち、**悪化傾向が2項目**
- ・ 障害者施設等で定期的な歯科健診を実施している割合は、目標達成
- ・ 障害者施設利用者のうち、かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受ける者の割合は、未達成（悪化傾向）
- ・ 障害者歯科に対応する歯科診療所は、未達成（悪化傾向）

- ✓ 障害者施設利用者における歯科健診の受診環境の整備が必要
- ✓ 障害者歯科に対応する歯科診療所の充実と共に、対応できる診療内容等、利用者への情報提供について、医療機能情報提供サービスの周知や活用促進に努める必要

【主な指標の達成度状況】

〔指標項目〕	〔基準値〕	〔目標値〕	〔現状値〕	〔達成度評価〕
障害者施設利用者のうち、かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受けている者の割合（医療型障害児入所施設を除く）【再掲】	78.8%	90.0%	55.7%	未達成 《悪化》
障害者施設等で定期的な歯科健診を実施している割合（医療型障害児入所施設を除く）	57.4%	70.0%	71.7%	達成 (124.9%)
障害者に対応する歯科診療所	42.7%	50.0%	37.4%	未達成 《悪化》



達成度評価④ 在宅療養者のQOLを支える在宅歯科医療体制の推進

4

在宅療養者の
QOLを支える
在宅歯科医療体制の推進



- ・ 現行計画の指標2項目のうち、**目標達成した指標は2項目**
- ・ 在宅医療サービスを提供している歯科診療所は、**目標達成**
- ・ 介護保険施設等で定期的な歯科健診を実施している割合は、**目標達成**

- ✓ 在宅医療サービスを提供している歯科診療所の増加に向けて、引き続き、取組を推進
- ✓ 在宅療養者の歯科口腔保健に関するアウトカム指標の検討が必要

【主な指標の達成度状況】

〔指標項目〕	〔基準値〕	〔目標値〕	〔現状値〕	〔達成度評価〕
在宅医療サービスを実施している歯科診療所	13.5%	増加	24.6%	達成 (182.2%)
介護保険施設等で定期的な歯科健診を実施している割合	21.1%	50.0%	79.0%	達成 (374.4%)

